

産業成長戦略の主な取り組み

第2期計画ver.3の取り組み

現状

H24

H25

H26

H27

農業産出額

930億円(H22)

↓ 969億円(H24)

生産

◆本県農産物の高収量化および高品質化

- 高収量・高品質に向けた取組の展開（冊子P ~ P）
 - ・「学び教えあう場」の取り組みのさらなる拡大
 - ・農業技術センターと連携し、現場のハウスに合った革新的な環境制御及び省エネ技術等の確立・普及（オランダの技術を習得して増収）
 - ・レンタルハウス整備や園芸用ハウス流動化への支援による、営農定着や規模拡大への負担の軽減
- 環境保全型農業のトップランナーの地位を確立（冊子P ~ P）
 - ・天敵導入など安心・安全につながるIPM技術を全地域、全品目へ普及
 - ・オランダとの友好園芸協定を活かし、高収量・高品質に向けた「こうち新施設園芸システム」の構築

新・次世代施設園芸団地の整備

- 米・土佐茶・畜産など地域の特産物の生産拡大やブランド化、生産性の向上（冊子P ~ P）

新・水田農業の担い手となる稲作経営体の育成

- ・畜産の生産基盤の強化

新・土佐あかうしの緊急増頭

◆担い手の確保と、地域の中核となる農業者等の規模拡大の推進

- 新規就農者の確保・育成と、実践研修などによる営農定着の支援（冊子P ~ P）

新・担い手育成センター（仮称）の整備

- 農地の集積による規模拡大や、経営体質の強化の推進（冊子P ~ P）

新・農地中間管理機構による農地の集積・集約化

◆中山間地域の農業の維持・活性化

- 集落営農を県内全域への拡大（冊子P）
- こうち型集落営農のステップアップの支援（冊子P）
 - ・法人化や組織の加工等への取組の促進
- 中山間に適した農産物等の生産（薬用作物の生産拡大支援など）（冊子P）
 - ・中山間での有望品目として、軽量で初期投資の少ないミシマサイコの生産拡大の支援

加工

◆生産と一体となった加工ができる体制づくり

◆農業者の収入につながる地域資源の加工の推進

- 農産物加工ができる人材の育成（冊子P）
 - ・農業創造セミナー修了生等のステップアップの支援
- 地域資源を活用した商品開発や事業者とのマッチング（冊子P）
 - ・地域に残された伝統作物の生産基盤を整え、増やす、加工につなげる
- 農産物加工品のブラッシュアップの支援（冊子P）

流通・販売

◆園芸品の基幹流通を強化するとともに、実需者のニーズに対応できる新たな流通・販売体制の構築

- 新たな販路を開拓するとともに、実需者のニーズを的確に捉え生産に活用（冊子P ~ P）
 - ・量販店や中食、外食等の実需者への営業商談の強化による販路開拓、販売拡大
 - ・市場流通以外の「顧客と産地をつなぐ新たな受発注システム」の構築
- 産地を伝える販売を強化し、本県園芸品のファンづくり（冊子P ~ P）
 - ・「新園芸ブランド」による販売の拡大
 - ・本県農業の取り組みを理解してくれるパートナー量販店での販売の強化
 - ・流通関係者等の産地招へいや、品目のセールスプロモーションによる産地の取組のPR
- こだわり野菜・果実の生産者と多様なニーズを持った実需者とのマッチングを推進
- 高知県産花きの販売強化（関東で商談会の実施、花きアドバイザーの活動）
- ユズ青果や果汁・加工品、花き等の輸出支援。EU向け農産物輸出支援

◆特産農産物のPRや販促、商談会等により販路を拡大（冊子P ~ P）

農業分野

4年後の目標 (H27年度末)

- I P M技術がより高度化するとともに、全地域・全品目へ普及
- 集落営農組織による農地（田・畑）のカバー率
(耕地面積ベース)
H23 : 9% → H27: 13%
(経営耕地面積ベース)
H23 : 12% → H27: 19%

- こうち型集落営農数
H23 : 17組織
→ H27 : 32組織

- 新規就農者数
280人/年
(営農意向調査の結果から、産地の維持・発展に必要な新規就農者数を280人とする)

- 地域資源を活用した加工の取り組みが県内各地に広がる

- 本県農産物の販路開拓を通じ、実需者ニーズに合った柔軟な流通・販売体制ができています
- 実需者の声が産地にフィードバックされ、販売を見据えた生産ができています

さらなる飛躍 へのポイント

生産性の向上と、安全・安心による選ばれる産地の形成

オランダ並みの生産性を目指す「新施設園芸システム」を県内各地に普及

一経営体あたりの収入をアップ

農地を集積

施設の高度化・大規模化

経営力のある企業的经营体を県内各地に育てる

中山間で収入を得る仕組みを定着

こうち型集落営農を通じた拠点ビジネスを各地域へ拡大

農産物の付加価値を向上

各地に生まれた加工の動きを産業に育てる

10年後の目指す姿 (H33年度末)

農で働き高知で暮らす

- 新規就農者数 : 280人/年

若者からお年寄りまで笑顔で暮らせる中山間の農業の確立

- 集落営農組織による農地（田・畑）のカバー率 : (耕地面積ベース) 26% (経営耕地面積ベース) 38%
- 集落営農のうち、こうち型集落営農数 : 100組織

攻めの外商で稼ぐ農業

- 販売金額1,000万円以上の農業経営体の割合 : 20% (H22: 11.5%)

農業産出額 1000億円以上を目指す

農業産出額

1050億円以上を目指す

地域で暮らし稼げる農業